

トピック



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

国有林のフィールドを活かした森林環境教育の実践

【箕面森林ふれあい推進センター】

大阪府箕面市に所在する箕面国有林は、都市部に近接し、「明治の森箕面自然休養林」に指定され、観光や野外活動などの森林レクリエーションの場として年間約180万人に利用いただいています。

箕面森林ふれあい推進センターでは、行政機関、教育機関、NPO等の地域関係者と連携し、箕面国有林の特色を活かしながら、ESD※の視点を取り入れた森林環境教育、里山再生と森林体験ゾーンの整備・活用、シカ被害対策などに取り組んでいます。

特に、森林環境教育（森林ESD）については、森林や自然に直接ふれあい体験し学ぶことが、子どもたちの「生きる力」や持続可能な社会の担い手を育むための教育として有効といわれています。今回は、箕面国有林（「エキスポ'90みのお記念の森」）を活用し、関係機関等と連携して行っている教員研修について紹介します。



木の葉はどんな香り？

※ ESD: Education for Sustainable Development の略。持続可能な開発のための教育のこと。

1 森林環境教育教員研修の開催

教員歴の浅い先生方を対象に、森林環境教育の内容や必要性について理解を深めていただくことを目的として「森林環境教育教員研修」を、箕面市教育委員会と共催しています。この研修は、箕面市に在勤する小・中学校の先生方を対象に平成16年度から開催しており、これまで延べ347名が受講しています。

今年度は、7月29日（月）に開催し、小・中学校の先生8名が参加されました。当日は、京都教育大学 山下 宏文（やました ひ



ネイチャーゲームの実践

ろぶみ) 教授からの「森林環境教育の重要性と進め方」と題した講義、「大阪森林インストラクター会」の指導によるネイチャーゲームの実践、「きんきちゅうごく森林づくりの会」の御協力をいただいた間伐体験が行われました。

参加者からは「間伐の必要性について誤った認識をしていた。教師が正しい知識をもって教育を行うことが大切だと思った。」「ネイチャーゲームでは、子どもたちが楽しく学べる方法を知ることができてよかった。」等の感想が寄せられた一方で、移動手段や専門的な知識がないなどの課題があるとの意見がありました。

2 「森の探検隊」 教員研修の開催

森や自然とのふれあいや体験を通じて感じたことを教育現場へ活用することを目的として「森の探検隊教員研修」を、箕面市教育研究会理科部会と共催しています。この研修は、箕面市在中の小・中学校の先生方を対象に、平成27年度から開催しており、参加者は、希望者を募集して行われています。

今年度は、7月22日(月)に開催し、小学校の先生13名が参加されました。

午前中は、「NPOクワガタ探検隊」の西 義史(にし よしふみ) 理事長による創作紙芝居の実演、「生物の多様性や人との共生」や「現場における教育手法」などの講義が行われました。午後からは、箕面公園昆虫館に場所を移し、中峰空(なかみね ひろし) 館長から「授業で使える昆虫豆知識」と題して、御自身の体験談を交えながらユニークな講義が行われました。



創作紙芝居の上演

参加者からは「五感を使っでの森林体験を通じて、子ども自身の新しい発見ができると感じた。」「教員自らが自然を体験することが大切であり、今後も続けてほしい。」等の感想が寄せられた一方で、森林環境教育を行うための時間の確保、手軽に行ける場所や安全面の確保等の課題があるとの意見がありました。

箕面森林ふれあい推進センターでは、教育機関やNPO等の地域関係者やボランティア団体等との連携・協力の下、これまでに実施した教員研修等でいただいた感想などを踏まえながら、より効果的な森林環境教育(森林ESD)の推進に向けて、今後も取り組んで行きたいと考えています。



昆虫ベット(カブトムシ用)の見学

「ドコモ環境学習会」 に参加しました

【広島森林管理署】

8月2日（金）、広島県呉市二川まちづくりセンターにおいて、株式会社NTTドコモ中国支社主催の「ドコモ環境学習会」が開催され、広島森林管理署職員7名が参加しました。



参加者との記念撮影

当日は、呉市内の小学校3～6年生の児童26名とその保護者24名の計50名、23家族が公募により集まりました。

当署職員は、学習会のメニューのうち「森のお話」と「木工工作」を担当しました。

「森のお話」コーナーでは、ワークシートを活用し、児童たちと意見交換を行いながら、日本の森の面積や森の働き、森を守るために出来ること等について話し合いました。

「木工工作」コーナーでは、児童たちが木製ブロックや枝等を使って作品づくりを行い、当署職員は器具の使用方法を指導す

る等、制作を手伝いました。

終了後、参加した児童からは「いつもよりも森のことを考えるようになった。」「木工工作がとても楽しかった。」等の声を聞くことができました。

また、保護者からは「『森のお話』コーナーで森について考えながら学ぶことができよかった。子供が楽しそうに聞いていた。」「今後は植樹等のイベントにも参加したい。」といった感想が寄せられ、主催者からも好評を頂いたところです。

今回の学習会は、参加者の方々に身近な森について考えてもらうきっかけとなっただけでなく、森を守るために行動したいという自発的な気持ちを引き出すことも出来ました。



出来上がった作品たち

当署では、日本の豊かな森林資源の保全のため、今後も森の大切さを積極的に国民の皆さまへ伝えていきたいと考えています。

国有林モニター会議を開催 (大阪地区)

【企画調整課】

9月7日（土）、箕面国有林において、兵庫県以東在住のモニターの皆さんを対象に、「国有林モニター会議（大阪）」を開催しました。



風倒木被害地での説明

林野庁では、国有林野事業の活動全般について一般の方々の意見をうかがい、対話型の取組を進め、国有林野事業に対する幅広い理解と支援を得ることを目的として、「国有林モニター事業」を実施しています。

本年度は63名の方にモニターをお願いしており、今回は、主に大阪地区に居住され応募された12名の皆さんに国有林の現場を見学していただきました。

午前、昨年の台風21号による風倒木被害地において、京都大阪森林管理事務所長から、復旧に向けてこれまで実施した事業の内容や今後の森林再生計画などを説明

しました。今後の森林の再生に当たっては、地域住民の声を取り入れ、景観に配慮するとともに、観光地であることも考慮し、サクヤやモミジの植栽なども念頭に計画していくこととしています。

その後、「エキスポ'90みのお記念の森」へ移動し、山の涼風や展望台からの景色などを楽しんでいただきながら、箕面森林ふれあい推進センター所長から、森林環境教育などの説明を行いました。

特に、ヒノキの人工林跡地にクヌギ等を植え、オオクワガタが棲める森づくりを行っていることについては、大きな関心が寄せられていました。

局へ戻っての意見交換会では、モニターの方々から、台風被害地の復旧費用・手法に対する御意見や、森林環境教育の拡大を期待する声などをいただきました。



モニターの皆さんとの意見交換会

9月28日（土）には、兵庫県以西在住のモニターの方を対象に、「国有林モニター会議（山口）」を岩国市の城山国有林で実施予定です。

お知らせ

『第33回 水都おおさか^{もみ}森林の市』を開催

今年も「森林の市」を開催します !!

大阪市は、江戸時代以降「水の都」と呼ばれ、琵琶湖の水の恩恵を受けて発達した水路を利用した交易により発展してきました。

琵琶湖が豊かな水を蓄え続けられてきたのは、森林の恩恵であると考えられます。

「森林の市」では、そうした森林の恵みや木に一般の方々が触れていただくことで、森林と人とのつながりや大切さを実感していただくことなどを通じて、豊かな森林資源を次世代に引き継いでいくことを目的に実施しています。

今年で33回目を数える森林の市では、「ミス日本みどりの女神」の藤本麗華さんが来場し、イベント会場を盛り上げるとと



もに、次世代の森林・林業・木材産業の担い手となる子どもたちや子育て世代が楽しめる企画をたくさんご用意してお待ちしておりますので、ご家族、ご友人などを誘って是非お越しください。

- 開催日時 令和元年 10月27日（日曜日） 10時から 15時30分
- 場 所 近畿中国森林管理局・毛馬桜之宮公園（JR 環状線「桜ノ宮駅」西出口から徒歩5分）
- 内 容
 - ・クラフトコーナー、森林セラピー等の森林体験
 - ・木製品や特産品の展示・販売
 - ・鹿肉バーガーの無料ふるまい（数量に限りがあります）
 - ・木にまつわる景品が当たる抽選会（数量限定、キッズ&親子向けイベント）
 - ・ボート乗船体験 外

* 昨年の森林の市の詳細はこちら→



第20回天満音楽祭同日開催
おおさか山の日関連イベント

第33回

水都おおさか
もり
森林の市
2019

令和元年10月27日(日) 10時00分～15時30分
雨天決行(荒天中止)

入場無料

【会場】近畿中国森林管理局、毛馬桜之宮公園
(JR大阪環状線「桜ノ宮」駅西出口から徒歩5分) ※会場内に駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。

未来につなごう元気な森林を

主催
水都おおさか森林づくり・木づかい実行委員会

詳しいイベント内容はこちらから▶

水都おおさか森林の市2019 🔍 検索



ミス日本みどりの女神
来場

森林の抽選会

シカ肉バーガーの
無料ふるまいも!

キャズコーナー
もあそび

林業おもちゃも
当たって学べる

森林のごちそう
フードコーナー

「森のようちえん」
体験ブースも!



オープニングセレモニー (2018)



クラフト体験 (2018)

森林のギャラリー（局庁舎1階）

○ 展示内容・期間

- ・ 林業大学校等の取組紹介（各大学校等） 9月17日（火）～10月18日（金）
- ・ 木工作品の展示（日本日曜大工クラブ） 9月24日（火）～ 9月29日（日）
- ・ 身近な内装木質化の事例紹介（大阪府） 10月 7日（月）～10月27日（日）

○ 開館時間

月曜から金曜日まで（土日、休日は除く） 9時00分～17時00分

我が署のスタッフ 京都大阪森林管理事務所 倉品佐武郎（平成31年度採用）

【現在取り組んでいる仕事は？】

私は、今年度林野庁に新規採用され、総務グループで経理を担当しています。文房具などの物品の調達・購入や、とても大きな額の治山工事の請求書の処理など、所内の様々な業務に関わっています。そのため、所内でどのような業務をしているのかを知ることができ、大変勉強になります。経理の仕事は、会計法など法令に基づいて正確な処理をする必要があります。法令の解釈など、難しく慣れないことも多いですがやりがいのある仕事です。

【職場の雰囲気は？】

職場の雰囲気はとても良いと思います。経理の仕事は所内がメインですが、業務グループの方々と現場の国有林に行くことも多くあり、現場では経理以外の仕事を教えてもらっています。わからないこともすぐ聞ける上司や年次休暇など細かいことに気遣ってくださる方々に囲まれて、日々楽しく仕事ができています。

【林野庁の魅力とは？】

京都大阪所管内では嵐山や清水寺といった世界的に有名な観光地に接する国有林が多くあり、そのような多くの人の暮らしに関わる国有林を維持管理していく仕事に関われることはすばらしいと思います。また研修やOJTなども多くあり、学べる機会が多くあることも魅力の1つだと思います。



所内での筆者

シリーズ 『国有林 最前線!』

森林技術・支援センターの取組を紹介します

森林技術・支援センター

森林技術・支援センターでは、森林資源の循環利用の確立に向け、民有林経営への技術の普及・支援を念頭に置きながら技術開発を推進するとともに、森林・林業技術者の人材育成を、研究機関・地域等と連携して取り組んでいます。

令和元年度の重点項目として以下の事項に取り組んでいます。

- 1 里山広葉樹の活用として伐採した森林の広葉樹二次林の施業に関する試験等のデータ収集・調査・分析の実施
- 2 林業成長産業化に向けたドローン、3次元レーザスキャナをはじめとするICT機器活用に向けた実証試験
- 3 「林業成長産業化構想技術者育成研修（ICT研修）」等の各種研修の受入れ
- 4 林業アカデミー、岡山県への研修講師派遣など民有林への森林・林業技術支援



現地研修会（民有林への普及）

三重森林管理署 長島森林事務所 首席森林官 定森弘道

長島森林事務所は、三重県南部の北牟婁郡紀北町に位置し、松阪森林事務所との合同事務所となっています。管轄区域は、紀北町の一部、大台町の一部、大紀町及び南伊勢町で、国有林4団地2,077ha、官行造林21団地2,044haとなっており、官行造林が多いのが特徴です。事務所は海拔4mに建っており、地震発生の際は津波が心配されます。

管内は、太平洋の熊野灘に面したリアス式海岸から標高1,100mの奈良県境におよび、ツキノワグマ、カモシカ等が生息し、「渡りをする蝶」として知られる「アサギマダラ」も見ることができます。また、風光明媚な地域で、世界遺産に登録された熊野古道（荷坂峠、ツツラト峠、三浦峠等）が通っていることや新鮮な海産物を求めて多くの観光客が訪れています。

管内の地形は全般的に急峻で、年平均降水量は3,000mm近くに達し、大台ヶ原に近いところでは4,000mmを超える年もあります。特に平成23年に発生した「紀伊半島大水害」の爪痕は今も各地に残っており復旧工事が進められています。一方、管内は温暖多雨な気候から、スギ、ヒノキの人工林が多い林業地帯となっていて、特に紀北町は「尾鷲ヒノキ」の産地となっています。

鍛冶屋又国有林では、早生樹「センダン」と「コウヨウザン」の試験地を設定しています。平成30年春に植栽したものは、現在1mを超えるものもあるなど、成長は旺盛です。この試験地が、造林経費の低コスト化に寄与できればと思っています。



合同事務所と津波避難タワー